

2024  
四季コンサート だより

2024年10月1日発行

浜松音楽友の会  
事務局  
〒438-0078磐田市中泉114-1  
080-4961-8166  
shiki.concert1984@gmail.com

## コンサートに寄せて

宮田 大

皆様こんにちは。

チェリストの宮田大です。

4月10日に開催された『四季のコンサート「春」宮田大(チェロ)&大萩康司(ギター)デュオリサイタル』から数ヶ月がたち、清々しい春から暑い日々が続く季節となりました。

4月は湿度が低く、カラッとした季節でしたので、チェロとギターの楽器の調子が良く、アクトシティ浜松中ホールの隅々まで楽器の音が響き渡った事を思い出します。

ギターの大萩康司さんとデュオリサイタルを始めて数年がたちました。最初の頃は、チェロとギターのデュオはどんな音がするのか、どんな作品を演奏するのか、未知数の多い演目にドキドキしながら演奏会へ足を運んでくださる方も多かったのですが、徐々にこのデュオの音が日本中に浸透していき、今ではチェロとギターの音が交わって起こる化学変化を聴きたいとおっしゃってくださる方がとても多くなりました。

大萩康司さんとは、音楽の方向性や音楽に対する考え方、意識の仕方や音楽の感じ方が一緒なこともあり、いつも「音で対話」をしています。舞台上で起こる一期一会の演奏は、常に新しい対話をしていて、演奏後にいつも二人で目を合わせて「作品に対して新しい発見がまた沢山あったね!」とうなずき合います。感じている音楽が時に違っていたら、お互い尊重し合い、どちらかの音楽に寄り添う流れは、言葉のいらない、音での対話ができるからこそ瞬間だと思います。



2024年4月10日 春のコンサートにて

チェロとギターのデュオの魅力は、最弱音にあると思います。音楽用語でp(音を小さく/ピアノ)という表記がありますが、pが3つ重なるとppp(限りなく小さく/ピアノニッシシモ)という意味になります。例えばオーケストラの演奏会でもpppが出てきたとしても、演奏者の人数が多い為、小さい音量でも限界があります。その分、チェロとギターはpppの音を表現することができますし、逆にエッジの効いたタンゴのような迫力のある音も出すことができます。

人数が少ないからできる事もありますが、チェロとギターの楽器の音の特性が「哀愁のある音」だからだと思います。咽び泣く、すすり泣く、儂い音などが「pppの世界」へとお客様をお連れし、会場の静寂さに皆様の心臓の鼓動の音がホールに響き渡るのではないかと思います。静かな空間はチェロとギターならではの世界だと思います。

小さな音こそ、耳を澄ませて前のめりになって音を感じようとする人間の心理があります。それは音楽家にとっても刺激的な瞬間で、一音たりと無駄な音を作らず、全ての音を感じ、歌い届けようとします。皆様と四季のコンサート「春」で、pppの世界を一緒に作ることができた事、あの空気感は今でも忘れられません。

チェロとギターのデュオに興味を持ちご来場くださった事、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。

これからも浜松音楽友の会が皆様に末長く愛され、会員の皆様と音楽が常に共にありますよう心よりお祈り申し上げます。

またお会いできる日を楽しみにしております。



# これからのコンサート予定

アクトシティ浜松 中ホール／開場17:45 開演18:30

## 2024年 秋・冬コンサート

秋  
10/11  
(金)

森野美咲  
ソプラノリサイタル  
ピアノ 木口雄人



©Taro Morikawa

### プログラム

ブラームス:メロディのように  
マスカーニ:アヴェ・マリア  
森田花央里(詞:森野美咲):連作歌曲《はじまり》  
ラフマニノフ:夢  
R.シュトラウス:明日!

他

冬  
12/8  
(日)

浜松ゆかりの演奏家シリーズ Vol.1  
須川展也  
サクソフォンリサイタル  
ピアノ 小柳美奈子  
ゲスト アンサンブル・ムジーク浜松  
弦楽カルテット



©Toru Hasumi

### プログラム

F.ボルヌ/I.ロト:カルメン幻想曲～オペラ《カルメン》より～  
G.カッチーニ/V.ヴァヴィロフ/朝川朋之:カッチーニのアヴェマリア  
A.ララ/森田一浩&啼鵬:グラナダ  
ジョン・ウィリアムス:エスカペイズ  
～映画「キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン」より～ 他

## 2025年コンサート

春  
4/27  
(日)

清水華澄  
メゾ・ソプラノリサイタル



昨年歌手活動20周年を迎えました。この20年間、様々な劇場やホールでオペラの舞台に立たせていただき、日本中のオーケストラの定期演奏会に出演させていただいて参りました。私は「いかに自然に作品の求める存在となれるか」ということを日々追求しております。今回のリサイタルでは私の尊敬する弦楽器奏者の皆様をゲストにお迎えし、私の個性の詰まった『清水華澄の世界』をお届けいたします!(清水華澄)

夏  
7/3  
(木)

イ・ヒョク  
ピアノリサイタル



一太陽のようなピアニスト、イ・ヒョクが、目くるめく演奏技術と天性のドラマツルギーのセンスで聴衆を感動させたー(2022.11.17 バリ『CLASSICO』より) 2022年バリで開催されたロン＝ティボー国際音楽コンクールにて優勝。その他にも2018年には浜松国際ピアノコンクールで第3位入賞。2021年に行われたショパン国際ピアノコンクールではファイナリストに選出されるなど世界中のコンクールで入賞を果たしている。飛躍を続ける若き偉才の演奏をぜひお楽しみください。

秋  
10/14  
(火)

石田泰尚・山中惇史  
デュオリサイタル



神奈川フィル、京響のコンサートマスターとしてのみならず、NHK朝の情報番組に出演し全国区となった「石田組」の組長としておなじみの石田泰尚ですが、母親が浜松出身ということもあり浜松にはご縁があります。今回リサイタルのパートナーに選んだのは作曲家としての顔も持つ若手実力派の山中惇史。他ユニットでの共演はあったもののデュオとしての共演は約4年ぶり2度目となります。浜松ならではのプログラミングをご期待ください。

冬  
12/1  
(月)

浜松ゆかりの演奏家シリーズ Vol.2  
神農広樹  
オーボエリサイタル



新日本フィルの首席奏者としての演奏も5年になろうとしています。オーケストラでの活動と並行してソリストとしての活動の幅もますます広がり、評価を高めているまさに今、日本オーボエ界のトップランナーとしてのリサイタルを地元浜松の皆さんにお届けできるのを大変楽しみにしております。美しい音色はもちろんのこと、音楽に合わせて表情を変える自由自在なオーボエをお楽しみください。(神農広樹)

## 事務局より

いつも温かなご支援をありがとうございます。おかげさまで5月初旬に会員様が定員となり、驚きや嬉しさとともに、ご入会希望の方をお断りしなければならない心苦しさもありました。また演奏会当日は、開場前の行列や満員の客席でご不便をおかけしておりますが、皆様の笑顔が私たちの最大の励みとなっております。これからも素敵な演奏会をお届けできるようスタッフ一同頑張っております。

★会員登録は来年へそのまま継続されます。退会希望、登録内容に変更のある方は2024年12月末日までに事務局へご連絡ください。来年のチケット送付後のご退会は、チケットの返送と手数料500円をご負担いただきますのでご了承ください。